

# 総務教育常任委員会資料

(平成23年11月29日)

〔件名〕

- ・第2回・第3回ボランティアシステム検討プロジェクトチーム会議の  
開催結果について 【鳥取力創造課】・・・1

## 第2回・第3回ボランティアシステム検討プロジェクトチーム会議の開催結果について

平成23年11月29日  
鳥取力創造課

本県のボランティア活動における現状及び課題を踏まえ、県民のボランティア活動への参加を促進するため、総合ボランティアバンク及びとっとりシニア人財バンクの開設等について検討を行う「ボランティアシステム検討プロジェクトチーム」の第2回会議及び第3回会議を以下のとおり開催しました。

- 1 第2回会議（10月26日（水）午後1時30分～3時30分 中部総合事務所）  
第1回会議等における議論を整理した上で、県・市町村のボランティア活動、支援における課題や鳥取県のボランティア活動推進のあり方について議論。

### 議題と主な意見

○ボランティア活動の支援における課題とボランティア活動推進のあり方について

- ・コーディネーターを指導できる人材の育成について積極的に取り組むべき。
- ・ボランティアの受け入れ側がボランティアへの配慮を欠くことがボランティア活動推進の障害となっており、受け入れ側の意識や体制の醸成が必要である。
- ・ボランティア活動への参加率が低い、40歳代や50歳代の方々などをどう取り込んでいくかについて考えることが大切である。

- 2 第3回会議（11月24日（木）午前10時～正午 中部総合事務所）

第2回会議における議論を整理した上で、会議を3つのグループに分け、ボランティア活動の活性化に関する3つのテーマについて、それぞれ議論。あわせて、総合ボランティアバンクに備えるべき主な機能について議論。

### 議題と主な意見

- (1) ボランティア活動の活性化に向けての方針について（ワークショップ形式）

ア テーマ1：コーディネーターの質を高める方法は

- ・実際に活動をする中で学び、ノウハウを蓄積することが有効である。
- ・交流会を兼ねながらの勉強会や、積極性の発揮される少人数での先進地視察も、他のコーディネーターが蓄積したノウハウを学ぶ意味で有効ではないか。

イ テーマ2：鳥取方式のボランティア参加とリピート率を上げるための方法は

- ・小さな清掃活動など一人でも参加可能なプチボランティアを推進してはどうか。
- ・ボランティア活動になじめるカリキュラムを学校の授業に組み込んではどうか。
- ・企業単位でまとまってボランティア活動に参加できる仕組みがあれば良い。企業のボランティア休暇制度を県、地域ぐるみで呼びかけるなどしてはどうか。

ウ テーマ3：ボランティアを受け入れる側の質を向上させるための方法は

- ・受入れマニュアルや手引きを作るとともに、受入れのための研修会を行うべき。
- ・ボランティア要請時の申込様式などを統一化することによって、ボランティア活動に関する手続きを簡単に行える仕組みが必要ではないか。

- (2) 総合ボランティアバンク（データベース）の機能案について

- ・ボランティア団体の掲載に際し、無制限に行うのではなく、団体の活動内容などをチェックした上で行う必要があるのではないか。

- 3 今後の予定

平成24年1月 第4回PT（来年度計画等の報告等）